

2025年3月13日（木）

チームオレンジ 活動報告

手稲区第2地域包括支援センター

オレンジコーディネーター 嶋津 瑠里

手稲区のチームオレンジ

1. ステップアップ講座（年6回）
2. 普及啓発イベント（年2回）
3. 認知症カフェとの協力
4. スマイルオレンジチーム
5. 個別マッチング

第1 包括
と共催

1. ステップアップ講座

- 8月、11月、2月に2回ずつ開催
- 認知症介護指導者の協力
 - … 事前、開催後の振り返りなど
 - … 認知症のご本人に話をしてもらえた
- 認知症サポート医に講師を依頼
- 現在感じている課題
 - オレンジサポーターになりたい人の発掘

2. 普及啓発イベント

1回目：12月「映画オレンジ・ランプ上映会」

- 上映会後、チームオレンジについて説明
- 地域住民160名 + オレンジサポーター12名参加
- オレンジサポーター… イベント周知・当日スタッフ

2回目：3月「合同スマイルオレンジチーム」開催予定

3. 認知症カフェとの協力

認知症カフェ つむぎ

- オレンジサポーターの派遣 … カフェスタッフ
- お互いに開催周知
… どちらの参加者も認知症に関心あり



4. スマイルオレンジチーム①

- 区民センター2階会議室 … 区民がわかりやすい場所
- 午後（月1～2回午前）
 - … 複数の参加者から「午前中は忙しくて来れない」
 - … 午前中は参加者が少ない
- 曜日固定はしない
 - … いまは参加者を増やす時期
 - 曜日で「来れない」方を減らしたい

4. スマイルオレンジチーム②

- 月1～2回「イベントの日」を設定
オレンジサポーターによる回想法、ゲーム等
2月には「家族が語り合う日」を開催

＜効果＞

新規の方を誘いやすくなる

「来て楽しかった」 → 継続参加に繋がる

参加者が集中 → 語り合いが活発

4. スマイルオレンジチーム③

<認知症の方>

- 「認知症」と宣言している方もいる
- 認知症の方同士、生活の不便さ・家族に気を使っていること等を共感、励まし合い
- ご本人の声
「いろいろな人といろいろな話ができて楽しい」
「また来たい」

4. スマイルオレンジチーム④

<ご家族>

- 家族同士で同じような悩みを話し合えた
- 家族も高齢 … 「話ができる場所ができてよかった」

<オレンジサポーター>

- 回想法等、持っているスキルを発揮
- 介護経験がある方 … ご家族の話を傾聴
- 初めは「認知症」の方の先回りをしてしまうことも
… 認知症の方と話をする中で変化

4. スマイルオレンジチーム⑤



4. スマイルオレンジチーム⑥

現在感じている課題

- 認知症の方の希望を聞き出すのが難しい
- 認知症の方が送迎なしで来るのが難しい場合もある
 - … オレンジサポーターが付き添うのも負担感あり
 - … 認知症の方が遠慮する気持ちが大きい
- オレンジサポーターにもっと活躍してもらいたい
 - … スマイルオレンジチーム内のマッチングが重要
- その日によって参加者のばらつきが大きい

5. 個別マッチング①

<認知症の方>

- 手稲に転居して1年
- 行動範囲外は「わからない」「行けない」と諦め

<オレンジサポーター>

- 膝が痛く、雪道は歩くのが大変。

お互いに助け合い、認知症カフェに参加

5. 個別マッチング②



5. 個別マッチング③

現在感じている課題

- やりたいことを話してくれる関係性づくり

 - … 遠慮があったり、頼みづらさがある

- 個別支援の希望者を把握できていない

 - オレンジサポーター：個別支援可能という登録は多い

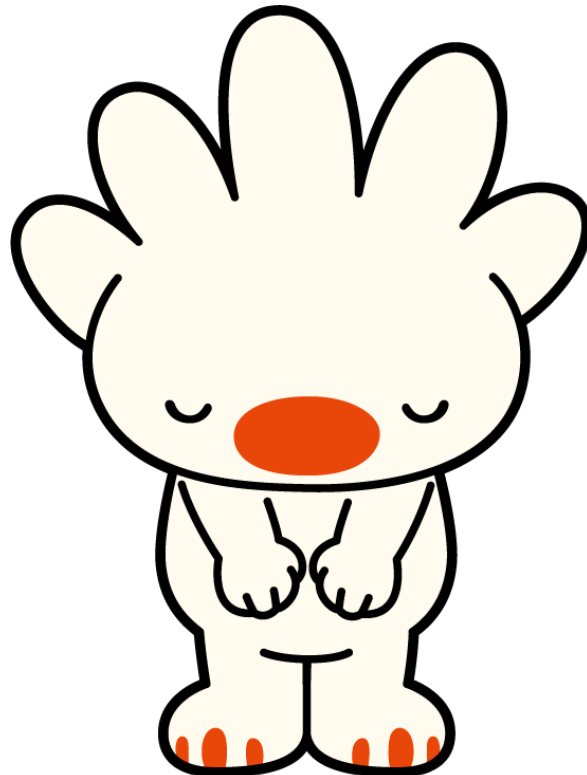
 - … ケアマネジャーに周知することで把握できるかも？

- オレンジコーディネーターの経験不足

チームオレンジで感じる良い効果

- 介護保険サービス利用前のご本人・家族が参加
- ご本人は「自分はこう」と話してくれる
 - 参加者の気づきになる
- 認知症に関心がある市民も参加
 - 認知症について知ってもらう機会
 - 認知症の方が参加していると気づかない人もいる
- 認知症の方・ご家族の社会参加の場になっている
- いろいろな市民が参加するため、若年性認知症の方も参加しやすい

ご清聴ありがとうございました



©TEINE WARD SAPPORO